

平岡東小だより

特別号

2024.9.26

平岡東小学校

4月18日木曜日、全国の小学6年生を対象に、「2024年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。国語と算数それぞれで、「知識・技能」を問う問題や「思考力・判断力・表現力等」を問う問題で、調査がおこなわれました。

その調査結果が7月末に公表されました。今後の教育の改善と向上に向けて、調査結果から、本校としての課題と改善策等を以下のようにまとめましたので、ご報告させていただきます。

《学力状況調査の結果》

国語…国語全体の結果は、全国平均とほぼ同程度でした。

情報と情報の関連づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題は正答率が高かったです。協同的探究学習が進められる中で友だちと意見交流する機会が増え、互いの意見の共通点や相違点に焦点をあてたり、必要な情報との関連性を深く考えたりしている成果が表れていると考えます。

一方で、話し言葉と書き言葉の違いや、文中における主語と述語の関係といった「言葉の特徴や使い方に関する問題」に課題が見られました。

文中の語句のもつ意味や役割、関係を考えて正しく捉える等の基礎的・基本的な学力の定着と、根拠を明確にして自分の考えを表現する思考力、判断力、表現力等を育成するバランスの取れた学習の活動を進めていくことに重点を置いて取り組んでまいります。

算数…算数全体の結果は、全国平均とほぼ同程度でした。

「数と計算」「図形」「データの活用」の3つの領域では、正答率が高く、出題形式（選択式・短答式・記述式）を問わずバランスよく解答できています。特に、「データの活用」の領域では円グラフや表から必要な情報を読み取り、分類・判断・整理することができていました。

一方で、「変化と関係」の領域に課題が見られました。具体的には、速さの意味について、道のりと時間との関係を理解し考察する問題です。この領域では、「示された問題内容の説明を解釈する力」や「筋道立てて考え、説明する力」が求められています。

基礎的・基本的な学力を更に充実させるとともに、場面に応じた活用力を身につけていくことが重要です。個別最適な学びと協働的な学びの調和を図りながら、場面に応じて適切に数学的処理ができる力の向上を目指して取り組んでまいります。

質問調査

普段の生活習慣を問う質問、先生や友だちとの関係性を問う質問、自己有用感を問う質問、規範意識を問う質問等、ほとんどの質問について、本校は全国平均よりも肯定的な回答が得られました。

放課後や週末といった学校の授業時間以外における学習時間は全国平均より少なかったです。また、「国語や外国語の勉強は大切であり、将来社会に出たときに役立つ」と考えてはいるものの、「国語や外国語の勉強が好きか」と問う質問には否定的な回答が多く見られました。

夢や希望をもち、人の役に立つ人間になりたいと意欲的に考えている子どもたちの思いを大切にしながら、より一層学校教育目標の実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。